

JF大分

水産おおい

2026年
8月

192号

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>



平成8年度
通常総会を開催

期は米水津、蒲江で対応している。またファイルだけでなくスキンスロインなど出荷先の要望も変化。それに対応するために2か所の加工場が必要。

【中根組合長挨拶要旨】 組合員の皆様方へ

浪井丸天水産が天皇杯を受賞した。小型の養殖ブリのブランド化に向けた努力に深く敬意を表する。

一方、十一月には佐賀関で大規模な火災が発生。被災された方々にお見舞い申し上げる。この火災で漁具の製造業者も焼失、針や重りの確保が危ぶまれたが、県や市の支援を受け、作業場の改修に着手した。

船漁業全体では昨年よりも取扱量、金額ともに増加したが、養殖業では夏場の養殖ブリの生残率が下がったことなどから取扱金額は前年の7割にとどまったが、単価が高く取扱金額は昨年並みとなった。

響で加工センターの受入尾数が計画よりも大幅に減少。また固定資産の減損処理を行ったことなどもあり令和7年度の事業利益はマイナス2億2900万円

本年度は加工事業の一層の推進や輸出など販売の円と、令和5年度以来1年ぶりの赤字となった。

多チャネル化を進め、マーケットニーズに対応した販売を強化。また組織の再編、業務の効率化、不良在庫の処理などもしっかりと対応するため、6月

1日に経営改革室を新設。組織の再編、業務の効率化など諸課題に重点的に取り組むとともに九州信漁連への信用事業譲渡についても協議を加速する。

今後とも課題をひとつひとつ解決しながら、組合

員の経営安定
 と組合活動の
 発展に向け、
 役員一丸とな
 り精進



する。精進
 の組合員の
 皆様のいっ
 そうのご理

解、ご協力を
をお願い申
し上げる




第5回理事会を開催

6月30日の総会終了後、理事会が開催された。審議の結果等は以下のとおり。

【議案】

- ・第1号議案 業務報告書の行政庁への提出について
 - R7業務報告書の提出が承認された
- ・第2号議案 2026年ディスクロージャー誌の発行について
 - 「2026年業務のご報告」発行が承認された
- ・第3号議案 組合員の異動について
 - 計6名の組合員の異動（准組合員への新規加入他）について承認された
- ・第4号議案 役員報酬の決定について
 - 承認された
- ・第5号議案 総会の部会の開催について（臼杵支店）
 - 7月24日に開催されることが承認された
- ・第6号議案 理事との融資契約について
 - 1件について承認された
- ・第7号議案 海洋環境等の激変を乗り越え我が国漁業を再生するための特別議決（案）について
 - 6/18に全漁連が決議した案について承認

【協議・報告事項】

- ①余裕金運用状況報告について
②マネロン等の防止にかかる取組状況(2026年3月末)の結果報告等について



当日は当漁協組合員等計8名が参加し、同協会の坂本憲一氏を講師に安全管理、関係法令、事故防止などについて講義があった。



大分県漁協女性部（岡崎都部長）は7月3日に通常総会を開催した。高瀬亮子監事が開催を宣言したのち、岡崎部長、来賓の中根組合長及び高田淳史、県水産振興課長が挨拶、成松恵美子委員（鶴見支部）を議長に選出し、議事に入った。令和7年度の事業報告及び収支決算、8年度の事業計画案及び収支予算並びに会費の額、徴収方法及び時期を審議し、いずれも承認された。

遊漁船
業務主任者講習会

7月1日、水産会館において令和8年度遊漁船業務主任者講習会が開催

令和8年度
女性部通常総会

大分県漁協女性部（岡崎都部長）は7月3日に通常総会を開催した。

水産多面的機能発揮対策地域協議会

大分県水産多面的機能発揮地域協議会（会長：高田淳史、県水産振興課長）は、7月3日に通常総会を開催し、市町村など会員



リーダー研修会

その後、場所を移して懇談した。




漁船保険事務研修会



海の事故ゼロ啓発活動

編集後記